

CDP2024 コーポレート SME(中小企業)版質問書

モジュール 14-19



目次

目次.....	1
モジュール 14: 中小企業イントロダクション.....	2
イントロダクション.....	3
(14.1) どの言語で回答を提出しますか？.....	3
(14.2) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。.....	3
(14.3) 貴組織に関する概要と紹介情報を提供してください。.....	3
(14.4) データの報告年の終了日を入力してください。.....	4
(14.5) CDP の回答に含まれる事業体は、財務諸表に含まれる事業体と比較してどうですか？.....	5
(14.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (例えば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。.....	5
(14.7) 14.5 で報告した事業体が拠点置き、かつ／または事業を行っている国・地域を選択してください。.....	7
モジュール 15: 中小企業のリスクと機会の特定、評価、管理.....	8
リスクと機会を特定、評価、管理するプロセス.....	8
(15.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。.....	8
モジュール 16: 中小企業のリスクと機会の開示.....	9
リスク開示.....	9
(16.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。.....	9
(16.1.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすことが見込まれると特定された環境リスクの詳細を記載してください。.....	10
(16.2) 報告年において、貴組織は水関連の規制違反に関する罰金、執行命令、その他の処罰を受けましたか。.....	16
機会の開示.....	17
(16.3) 報告年度において、貴組織に実質的な影響を与えた、あるいは将来的に実質的な影響を与えると予想される環境上の機会を特定しましたか。.....	17
(16.3.1) 報告年において組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと予想される、特定された環境に関連する機会の詳細を記載してください。.....	18
モジュール 17: 中小企業ガバナンス.....	23

環境への責任.....	23
(17.1) 貴組織では、環境課題に対する責任を負っていますか.....	23
(17.1.1) 環境課題への責任を負う最高レベルの職位または委員会を記載してください。(個人名は含めないでください).....	23
環境方針.....	26
(17.2) 貴組織は、環境課題に取り組む環境方針を定めていますか.....	26
(17.2.1) 環境方針の詳細を記入してください.....	27
モジュール 18: 中小企業のビジネス戦略.....	29
リスクと機会が戦略と財務計画に及ぼす影響.....	29
(18.1) 環境リスクと機会は、戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか.....	29
(18.1.1) 環境問題によって生じるリスクと機会が、戦略および/または財務計画のどの部分でどのように影響を及ぼしたのか、説明してください.....	30
移行計画.....	31
(18.2) 貴組織の戦略には、気候移行計画が含まれていますか.....	31
バリューチェーンエンゲージメント.....	33
(18.3) 環境問題について、サプライヤー、顧客、その他バリューチェーン内のステークホルダーと協働していますか.....	33
協働の機会 [SC のみ].....	35
(18.4) 特定の CDP サプライチェーンメンバーと協働できる、お互いに有益な環境関連のイニシアチブを回答してください.....	35
(18.5) 貴組織は、CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより、相互に有益な環境イニシアチブを既に実施しましたか.....	38
(18.5.1) 相互に有益な環境イニシアチブの実施を促した CDP サプライチェーンメンバーを明記し、イニシアチブの情報を提供してください.....	38
連結アプローチ.....	42
(19.1) 回答を通じて報告される気候関連の影響を判断するために貴組織が使用する連結アプローチを選択してください。この選択肢は、貴組織の GHG インベントリを統合するために選択したアプローチと一致する必要があることにご注意ください.....	42

【注意】

本書は CDP2024 コーポレート SME 版質問書の日本語仮訳です。CDP 質問書への回答準備のための参考資料としてご提供するものであり、質問内容、選択肢など、正しくは CDP ポータルに掲載されている英語版を参照してください。本書を利用することに伴う直接・間接的に生じた損害、損失等に対し、CDP は責任を負いません。

モジュール 14: 中小企業イントロダクション

イントロダクション

(14.1) どの言語で回答を提出しますか？

質問内容	
完全版質問書との整合性	変更なし(1.1)
回答方法	選択肢: <ul style="list-style-type: none">英語中南米スペイン語ブラジルポルトガル語日本語中国語その他、具体的にお答えください

(14.2) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	軽微な変更(1.2)
説明	CDPは組織に対し、依存、影響、リスク、機会に関連した財務数値を報告するよう推奨しています。単一の通貨で開示することで、比較可能な財務情報の収集が容易になります。これは、投資家や他のデータ利用者が、貴組織が回答した費用と便益を評価する際に有益です。
回答方法	選択肢: <ul style="list-style-type: none">通貨のドロップダウンリスト

(14.3) 貴組織に関する概要と紹介情報を提供してください。

質問内容

完全版質問書との 整合性	質問の修正(1.3)
説明	こちらに記載いただく貴組織に関する情報は、データ利用者が、事業活動やセクター、環境課題や企業戦略との関連性の中で、貴組織の回答内容を理解するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
組織の種類	組織の詳細
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 上場組織 • 非上場組織 • 公営組織 • 半官半民組織 	文章記入欄[最大 1,000 字]

(14.4) データの報告年の終了日を入力してください。

質問内容	
完全版質問書との 整合性	質問の修正(1.4)
説明	この質問により、時間的背景を明確にすることができ、組織の環境面での進捗について、一貫性をもった経年比較や評価を行うことが可能になります。これは、透明性と説明責任を高め、データ利用者が報告期間と関連した回答を解釈するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
報告年の終了日	本報告期間と財務情報の報告期間は一致していますか

日付[MM/DD/YYYY]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ
----------------	---

(14.5) CDP の回答に含まれる事業体は、財務諸表に含まれる事業体と比較してどうですか？

(1.5) 貴組織の報告バウンダリ(範囲)の詳細を回答してください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(1.5)
説明	貴組織がこの開示枠組みに対応する一連の主体(グループ、事業、または企業)を、貴組織の報告バウンダリと呼びます。報告バウンダリの定義は、環境報告における基本的なステップです。この質問に対する回答は、CDP 質問書でデータを提供する主体の集合を定義し、貴組織の回答が事業運営にどのように関連しているかをデータ利用者が解釈し、異なる組織の環境パフォーマンスを比較するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	1 列目で「いいえ」を選択した場合に表示
CDP 回答に使用する報告バウンダリは財務諸表で使用されているバウンダリと同じですか。	財務諸表で使用される報告バウンダリと CDP 回答での報告バウンダリにどのような違いがありますか。
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 該当なし - 財務諸表を公表してません	文章記入欄[最大 2,500 字]

[固定列]

(14.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (例えば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。

質問内容

完全版質問書との整合性	変更なし(1.6)
説明	ISINコードとその他の市場識別IDは、債券、先物、株式等の有価証券の識別に世界的に使われているコードです。貴組織固有の市場識別IDを記入することで、回答の透明性が高まります。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	2列目で「はい」を選択した場合のみ表示 3
固有の市場識別ID	貴組織はこの固有の市場識別IDを使用していますか	貴組織固有の市場識別IDを記入してください
ISINコード - 債券	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 	文章記入欄[最大50字]
ISINコード - 株式		
CUSIP番号		
ティッカーシンボル		
SEDOLコード		
LEI番号		
D-U-N-S番号		
その他の一意の識別子		
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • ISINコード - 債券 • ISINコード - 株式 • CUSIP番号 • ティッカーシンボル • SEDOLコード • LEI番号 • D-U-N-S番号 • その他の一意の識別子 		

[固定行-追加行]

(14.7) 14.5 で報告した事業体が拠点を置き、かつ／または事業を行っている国・地域を選択してください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	軽微な変更(1.7)
説明	中小企業の中には、主にその国・地域だけで事業を展開している場合もあれば、近隣諸国に進出したり、特定の地域を対象としている場合もあります。この質問は、データ利用者が、貴組織の回答がさまざまな地理的地域にわたる貴組織の事業とどのように関連しているかを解釈するのに役立ちます。地理的なデータは、データ利用者が期待される状況を説明し、潜在的なリスクと機会を理解するために利用することができます。

1
国・地域
該当するものをすべて選択してください [国・地域のドロップダウンリスト]

モジュール 15: 中小企業のリスクと機会の特定、評価、管理

リスクと機会を特定、評価、管理するプロセス

(15.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(2.2.1)
説明	<p>中小企業は環境リスクを含むリスクに対して特に脆弱であることが多く、それは、強固なリスクアセスメントや管理システムが整備されていないことが多いからです。銀行や金融機関も、融資を決定する際に企業の環境リスクに関する情報を求めるようになってきています。そのため、リスクを特定し管理するための強固なリスク評価プロセスを整備することは、事業のレジリエンスを構築する上で重要であり、中小企業にとってこれほど重要なことはありません。</p> <p>加えて、中小企業の柔軟性と革新能力は、環境ソリューションを提供する上で好位置にあり、極めて重要です。このような機会を特定し、管理するための強固なプロセスがなければ、中小企業は競争上の不利に直面し、重要な機会を生かす能力を失う危険性があります。</p> <p>この質問では、組織が環境問題を特定、評価、管理するプロセスを持っているかどうかを確認し、データ利用者が自らの環境リスクと機会に対する組織の認識を測ることができるようにします。これは、コスト削減、投資家や企業との関係の改善など、明確なビジネス上の利益と密接に関連しており、企業が将来の環境政策に先駆けて、その成長を将来に備えていることを示すものです。</p>
回答方法	以下の表に記入してください

1	1列目で「はい」を選択すると表示		
	2	3	4
プロセスの有無	このプロセスで評価されたリスクや機会	評価の頻度	プロセスを説明してください
選択肢: • はい • いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です • いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません	選択肢: • リスクのみ • 機会のみ • リスクと機会の両方	選択肢: • 年に複数回 • 年1回 • 2年に1回 • 3年またはそれ以上の期間に1回 • 重要な事案が生じたとき • 特定していない	文章記入欄[最大 3,500 文字]

[固定列]

モジュール 16: 中小企業のリスクと機会の開示

リスク開示

(16.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(3.1)
説明	重大な影響を及ぼす環境リスク(企業レベルの組織に対して、業務上、財務上、戦略上、相当な、または比較的的重大な影響を及ぼしているもの、または及ぼすことが予測されるもの)は、事業全体または事業の一部を弱体化させる可能性があります。中小企業は特にグローバルリスクに対して脆弱であるため、リスクを特定することは、事業のレジリエンスを確保するための重要なステップです。また、投資家やデータ利用者にとっても、組織のリスク・エクスポージャーを理解することは極めて重要であり、特に、バリュー・チェーン(サプライヤー、顧客、その他のステークホルダー)全体にわたって、組織に重大な影響を及ぼすと予想される環境リスクについて理解することが重要です。これには、報告年内にすでに影響を及ぼしたリスクと、将来影響を及ぼす可能性のあるリスクの両方が含まれます。評価の一環として、重大な影響を及ぼす環境リスクが特定されていない場合、データ利用者にとっては、そのようなリスクが組織に影響を及ぼすと予測されないと結論づけた経緯と理由を理解することも同様に極めて重要です。
回答方法	以下の表に記入してください。フォレストとウォーターの行は、これらのテーマを回答している組織のみに表示されます。

		1 列目で「はい、直接操業とバリューチェーン上流/下流の両方において特定」以外が選択されている場合に表示
0	1	2
環境問題	環境リスクの特定	貴組織が直接操業やバリューチェーン上流/下流に環境リスクがないと判断した主な理由
気候変動	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい、直接操業とバリューチェーン上流/下流の両方において特定 はい、直接操業のみにおいて特定 はい、バリューチェーンの上流/下流のみにおいて特定 いいえ 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 環境リスクは存在するが、事業に重大な影響を及ぼす可能性のあるものはない 評価中 内部リソース、能力、または専門知識の欠如 (例: 組織の規模が原因) 標準化された手順がない

		<ul style="list-style-type: none"> • 当面の戦略的優先事項ではない • データが不十分 • その他、具体的にお答えください
フォレスト		
ウォーター		

[固定列]

(16.1.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすことが見込まれると特定された環境リスクの詳細を記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 16.1 の[環境リスクの特定]の列で「はい」のいずれかを選択した場合のみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(3.1.1)
説明	この質問に対する回答は、洪水や、持続可能な製品やサービスに対する需要の高まりによる顧客行動の変化など、現在および将来にわたって組織に影響を及ぼす環境リスクの概要をデータ利用者に提供します。このようなリスクの現在および将来予想される財務的影響に関する情報と、それらを管理・軽減するための対応戦略は、事業のレジリエンスと環境スチュワードシップを向上させるための投資を導き、企業活動を実施するために不可欠な要素です。さらに、大企業であれば、特定の新たな規制報告要件に基づき、リスクによる財務的影響の数値報告を求められる可能性があります。こうしたリスクへの対処を怠ると、風評被害、規制遵守の問題、財務的不安定につながる可能性があります。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

16.1 の 1 列目の選択に基づいて行が表示		1 列目で「フォレスト」を選択すると表示		ドロップダウンのオプションは、1 列目で選択された環境課題に依存して表示			1 列目で「ウォーター」を選択した場合に表示		
1	2	3	4a	4b	5	6	7	8	9

当該リスクが関係する環境課題	リスク識別ID	コモディティ	環境リスクの種類	環境リスクの主な原因	リスクが発生するバリューチェーン上の段階	リスクが発生する国/地域	リスクが発生する河川流域	リスクに関する組織固有の詳細	リスクの主な財務的影響
気候変動	選択肢: リスク1-リスク100	該当なし	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 急性の物理的リスク 慢性の物理的リスク 政策 市場 評判 技術 法的責任 	以下のドロップダウンリストから選択してください。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 直接操業 バリューチェーン上流 バリューチェーン下流 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> [国・地域のドロップダウンリスト] 	該当なし	文章記入欄[最大1,500文字]	以下のドロップダウンリストから選択してください。
フォレスト		該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 木材製品 パーム油 牛製品 ココア コーヒー 大豆 天然ゴム 該当なし 					該当なし		
ウォーター		該当なし					該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> [河川流域のドロップダウンリスト] 不明 その他、具体的に 		

該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • 気候変動 • フォレスト • ウォーター 									
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	10列目で「当該リスクは、報告年の間にすでに当組織に重大な影響を及ぼしています」以外の選択肢を選択した場合に表示			13列目で「はい」を選択した場合に表示	13列目で「はい」を選択した場合に表示	13列目で「はい」を選択した場合に表示	ドロップダウンのオプションは1列目に依存して表示			
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
このリスクが組織に重大な影響を及ぼすと考えられる時間軸	想定される時間軸でこのリスクが影響を及ぼす可能性	影響の程度	リスクの財務的影響を定量化することができますか	見込まれる財務上の影響額—最小(通貨)	見込まれる財務上の影響額—最大(通貨)	財務上の影響額の説明	リスクへの主な対応	リスク対応費用	費用計算の説明	対応の詳細
該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> • 短期 • 中期 • 長期 • 当該リスクは、報告年の間にすでに当組織に重大な影響を及ぼしています • 不明 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • ほぼ確実 • 可能性が非常に高い • 可能性が高い • 5割を超える確率で • 可能性がおよそ5割 • 可能性が低い • 可能性が非常に低い • 可能性が並外れて低い • 不明 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 高い • やや高い • 中程度 • 中程度～低い • 低い • 不明 	から選択する: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 	数値記入欄[0から999,999,999,999までの数値を小数点以下2桁以内で入力]	数値記入欄[0から999,999,999,999までの数値を小数点以下2桁以内で入力]	文章記入欄[最大2,500字]	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	数値フィールド[0から999,999,999,999までの数値を小数点以下2桁まで入力]。	文章記入欄[最大1000文字]	文章記入欄[最大2,000文字]

[行固定、行追加]

リスクの種類と主な環境リスク要因(4列目)

政策リスク

- カーボンプライシングメカニズム
- 国際法や二国間協定の変更
- 国内法の変更
- 既存商品・サービスの規制変更
- 水道料金の値上がり
- 操業許可取得の困難化
- 排水許可取得の困難化
- これまで規制されていなかった汚染物質に対する規制基準の導入
- 成熟した認証と持続可能性基準の欠如
- 河川流域管理が限定的またはその欠如
- 国境を越えた水管理が限定的またはその欠如
- 水利用効率、保全、リサイクル、またはプロセス基準の義務化
- 規制当局間の調整不足
- 環境規制の施行が不十分
- 排水の水質/水量の規制
- 法定取水制限/配水量の変更
- 土地保有権や水使用権に関する不確実性や対立
- その他の政策リスクの場合は、具体的にお答えください

技術リスク

- 水を大量に消費するエネルギー源への依存
- 既存の生産地の収量を増加できない
- データアクセス不足
- 監視システムの欠如
- 低排出技術および製品への移行
- 水利用効率性が高く、水集約度の低い技術および製品への移行
- 水を大量に利用する低炭素エネルギー源に移行
- 新技術への投資の失敗
- その他の技術リスクがある場合は、具体的にお答えください

評判リスク

- ステークホルダーの懸念の増大や否定的なフィードバック
- 地元の反対
- 環境に悪影響を及ぼすプロジェクトや活動(GHG 排出、森林伐採・転換、水ストレスなど)の支援に関するネガティブな報道
- セクターへの非難
- その他の評判リスクの場合は、具体的にお答えください

急性の物理的リスク

- 雪崩
- 寒波/霜
- サイクロン、ハリケーン、台風
- 干ばつ
- 洪水(沿岸、河川、多雨、地下水)
- 氷河湖の決壊
- 熱波
- 豪雨(雨、霰・雹、雪/氷)
- 地滑り
- 汚染事故
- 嵐(吹雪、砂塵、砂嵐を含む)
- 地盤沈下
- トルネード
- 有害物質の流出
- 山火事
- その他の急性の物理的リスクがある場合は、具体的にお答えください

慢性の物理的リスク

- 土地利用の変化
- 降水パターンと種類の変化(雨、霰・雹、雪/氷)
- 温度の変化(待機、淡水、海水)
- 風のパターンの変化

<p>市場リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 認証を受けた持続可能原材料が入手できない ● 持続可能な認証コモディティの価格上昇 ● 顧客行動の変化 ● 原材料コストの上昇 ● 上下水道・衛生サービス(WASH)を十分に利用できないこと ● リークエッジ市場 ● 組み込み(生産・製造に使用された)コモディティの限定的な可視性 ● コモディティの原産地や合法性についての不確実性 ● マーケットシグナルの不確実性 ● その他の市場リスクの場合は、具体的にお答えください <p>法的責任リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 訴訟問題 ● 一時停止措置や自主協定 ● その他の法的責任リスクの場合は、具体的にお答えください 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海岸浸食 ● 水質の低下 ● 地下水資源の枯渇 ● 熱ストレス ● 不十分な水インフラ ● 生態系の脆弱性の増大 ● 淡水域における環境汚染物質の増加 ● 異常気象の深刻化 ● 砂漠化による土地の損失 ● 海洋酸性化 ● 永久凍土の融解 ● 衛生管理不足 ● 自治体による上水の配給 ● 塩水浸入 ● 土地資源の不足 ● 海面上昇 ● 季節要因による供給量変動または経年変動 ● 土壌劣化 ● 土壌浸食 ● ソリフラクション ● 気温変動 ● 水ストレス ● その他の慢性的物理的リスクがある場合は、具体的にお答えください
---	---

リスクの主な財務的影響(9 列目)	
<ul style="list-style-type: none"> ● ブランドダメージ ● 売上構成や収入源の変化 ● 事業撤退 ● 成長に対する制約 ● 株主価値の減少 ● 資本へのアクセスの減少 ● 資産価値または資産耐用年数の低下による、既存資産の評価損、減損、早期除却 ● 製品およびサービスに対する需要低下に起因した売上減少 ● 生産能力低下による減収 ● 営業ライセンス確保の遅れ ● 生産能力の中断 ● 売上の混乱 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資本支出の増加 ● 法令順守費用の増加 ● 資本コストの増加 ● 与信リスクの増加 ● 直接費の増加 ● 間接費(運営費)の増加 ● 保険料の上昇 ● 生産コストの増加 ● 訴訟 ● 事業許可の喪失 ● リスクの高い地域の資産に対する保険の利用可能性の低下 ● 新しい活動やプロセスに適応/展開するための初期費用

<ul style="list-style-type: none"> バリューチェーン上流における混乱 労働力管理と計画の混乱 	<ul style="list-style-type: none"> その他、具体的にお答えください
---	---

リスクへの主な対応(24 列目)	
<p>農業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な灌漑活動を採用 森林減少や他の自然生態系の転換リスクが高い管轄区域からの調達を避ける 土壌の健全性向上 生物種の管理や回復 その他の農業活動に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください <p>多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい製品、サービス、市場の開発 サプライヤーの多様化を拡大 マーケティングキャンペーン 市場拡大 調達地域での緊急対応システムの強化 調達地域での火災管理システムの強化 その他の多様化に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください <p>エンゲージメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織の政策エンゲージメントの取り組みと環境戦略の連携 マルチステークホルダー・イニシアティブへの参加 顧客との協働 地域社会との協働 NGO/特別利益団体との協働 規制当局/政策立案者との協働 サプライヤーとの協働 業界団体との協働 関連のステークホルダー向けに苦情対応メカニズムの提供 	<p>テクノロジー</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の効率的な利用、再利用、リサイクル、および保全活動を採用 インフラ整備の改善 環境関連の資本支出を増加 施設の地理的多様性を増大 研究開発投資の拡大 上下水道と衛生設備(WASH)への投資拡大 代替給水を確保 その他のインフラ、テクノロジー、支出に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください <p>自然に根ざした解決策、修復、保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物多様性オフセット 生態系の回復と長期的な保護を実施 管轄区域の取り組みへの参加、支援 自然に根ざした解決策を実施 金銭的インセンティブを含む持続可能な森林管理の推進 集水域と河川の回復を支援 河川流域の修復を支援 保全プロジェクト(森林再生、植林、および生態系復元を含む)での自発的なエンゲージメント その他の自然に根ざした解決策、修復、保全に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください <p>方針と計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生農業方針を採用 事業継続計画の修正 国、二国間、地域レベルで、国境を越えた水に関する方針や協定を検討

<ul style="list-style-type: none"> 環境インセンティブの導入／強化 その他のエンゲージメントに関連する対応がある場合は、具体的にお答えください <p>法令順守、モニタリング、目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 自社事業での森林減少なし、転換なし 拠点固有の目標を設定 組織全体の目標を設定 規制要件への遵守強化 デューデリジェンスの強化 コモディティのトレーサビリティ強化 直接操業における環境ベストプラクティスの実施 直接操業のモニタリングを強化 バリューチェーン上流と下流における活動のモニタリングを強化 サプライヤーのパフォーマンス基準の導入、強化 バリューチェーンでのベストプラクティスと意識の向上 その他の法令順守、モニタリング、目標に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください 	<ul style="list-style-type: none"> 気候移行計画を策定 干ばつ緊急対策を策定 洪水緊急計画を策定 事業活動に影響のある政策と環境への取り組みとの整合性を強化 保険の補償範囲を拡大 持続可能に調達した原材料の使用量の増加 より野心的な環境関連のコミットメントと方針 より野心的な転換なしのコミットメントと方針 自然生態系を保護するためのより野心的な方針とコミットメント 業界における環境関連の協働枠組み、イニシアチブ、コミットメントへの参加 リスク移転手段を利用 その他の方針、計画に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください <p>プライシング、クレジット</p> <ul style="list-style-type: none"> インターナルカーボンプライシングを導入 インターナルウォータープライシングを導入 インターナルカーボンプライシングの引き上げ インターナルウォータープライシングの引き上げ 水質クレジットの購入 炭素クレジットの推進／購入 その他のプライシング、クレジットに関連する対応がある場合は、具体的にお答えください
---	--

(16.2) 報告年において、貴組織は水関連の規制違反に関する罰金、執行命令、その他の処罰を受けましたか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(3.3)
説明	組織全体の法令順守に関連する罰金やその他の非金銭的な罰則に関する理解は、地域の事業環境に及ぼす影響や、水管理の潜在的な財務的影響に対する組織の認識を示しています。この情報は、投資家や他のデータ利用者が、企業レベルでの管理手続きの有効性のある程度理解するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください

	1列目で「はい」を選択すると表示	
1	2	3
水関連規制違反の有無	罰金、執行命令、および/またはその他の罰則	コメント
選択肢: ・はい ・いいえ ・不明	該当するものをすべて選択してください: ・罰金 ・執行命令またはその他の罰則 ・罰金、ただし重大とみなされるものはない ・執行命令やその他の罰則はあるが、重大とみなされるものはない	文章記入欄[最大 1,000 文字]

[固定列]

機会の開示

(16.3) 報告年度において、貴組織に実質的な影響を与えた、あるいは将来的に実質的な影響を与えると予想される環境上の機会を特定しましたか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(3.6)
説明	<p>重大な影響を持つ環境機会(企業レベルにおいて、組織に対して、業務上、財務上、または戦略上、相当程度または比較的大きな影響を及ぼしているもの、または及ぼすことが予測されるもの)は、コスト削減や収益創出、差別化と競争力の強化、雇用創出、ステークホルダーの信頼性の向上、さらにはより広範な地域社会への利益といったプラスの影響に貢献することができます。投資家やデータ利用者にとっては、組織が、直接的な事業活動の中で、あるいはバリューチェーン全体(サプライヤー、顧客、その他のステークホルダー)の中で、組織に重大な影響を及ぼすと予想される環境上の機会を特定しているかどうかを知ることが極めて重要です。これには、報告年すでに影響を及ぼした機会と、将来影響を及ぼす可能性のある機会の両方が含まれます。アセスメントの一環として、重大な影響を及ぼす環境上の機会が特定されなかった場合、データ利用者にとっては、組織がどのような機会を提示されていないと結論づけたのか、またその理由を理解することも同様に極めて重要です。</p>

回答方法	以下の表に記入してください。フォレストとウォーターの行は、これらのテーマを回答している組織のみに表示されます。
------	---

	0	1	2
環境課題		環境機会を特定	1列目で「いいえ」を選択した場合に表示 貴組織に環境機会がないと考える主な理由
気候変動		選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい、機会を特定し、いくつか、あるいはすべてが実現しています • はい、機会を特定していますが、実現できていません • いいえ 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 機会は存在するが、組織に重大な影響を及ぼすと予想されるものはない • 評価中 • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如（例：組織の規模が原因） • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • データが不十分 • その他、具体的にお答えください
フォレスト			
ウォーター			

[固定列]

(16.3.1) 報告年において組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと予想される、特定された環境に関連する機会の詳細を記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問16.3の[環境機会の特定]の列で「はい、...」のいずれかを選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(3.6.1)
説明	この質問に対する貴組織の回答により、データ利用者は、報告年度に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に実質的な影響を及ぼすと推定される環境機会の概要を知ることができます。これらの機会の現在および潜在的な規模(推定値)に関する情報と、これらの機会を捉えるための貴社の対応戦略により、データ利用者は、貴社の組織が事業の回復力と環境スチュワードシップを向上させるためにどのような企業行動を実施しているかを確認することができます。

回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。
------	---

行は、16.3 の 1 列目の 選択に基づいて表示		1 列目で「フォレスト」 を選択すると表示		ドロップダウンのオプ ションは、1 列目で選 択された環境課題に依 存して表示			1 列目で「ウォ ーター」を選択 した場合に表示
1	2	3	4a	4b	5	6	7
当該機会が関連する環 境課題	機会識別 ID	コモディティ	機会の種類	主な環境機会要因	機会が発生するバリューチェ ーン上の段階	機会が発生す る国/地域	機会が発生し た河川流域
気候変動	選択肢: Opp1- 100	<ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> キャッシュフローと資金調達 エネルギー源(CC) 市場 製品とサービス 評判資本 レジリエンス 資源効率 その他、具体的に 	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 直接操業 バリューチェーン下流 バリューチェーン上流 	該当するものをすべて選んでください: [国・地域のドロップダウンリスト]	該当するものをすべて選んでください: [河川流域のドロップダウンリスト] <ul style="list-style-type: none"> 不明 その他、具体的に
フォレスト		該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 木材製品 パーム油 牛製品 ココア コーヒー 大豆 天然ゴム 該当なし 					

ウォーター		該当なし					
<ul style="list-style-type: none"> • 気候変動 • フォレスト • ウォーター 							

8	9	10	11	12
機会に関する組織固有の詳細	機会の主な財務的影響	この機会が組織に重大な影響を及ぼすと考えられる時間軸	10列目で「この機会は、報告年において、すでに重大な影響をもたらしています」以外の選択肢を選択した場合に表示 想定される時間軸で機会が影響を及ぼす可能性	影響の程度
文章記入欄[最大 1,500 文字]	から選択する: 表の下のドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> • 短期 • 中期 • 長期 • この機会は、報告年において、すでに重大な影響をもたらしています • 不明 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • ほぼ確実 • 可能性が非常に高い • 可能性が高い • 5割を超える確率で • 可能性がおおよそ5割 • 可能性が低い • 可能性が非常に低い • 可能性が並外れて低い • 不明 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 高い • やや高い • 中程度 • 中程度～低い • 低い • 不明

[行固定、行追加]

主な環境機会要因(4b 列目)	
キャッシュフローと資金調達 <ul style="list-style-type: none"> • 新たな融資オプションへのアクセス • サステナビリティリンクローンへのアクセス • バイヤーからの金銭的報酬 • 生態系サービスへの支払い(REDD+以外) • 森林減少および転換なしの原材料に対する価格プレミアム[Fのみ] • REDD+ 	製品とサービス <ul style="list-style-type: none"> • 事業活動の多角化の可能性 • 研究開発および技術革新による新製品・新サービスの開発 • 既存製品・サービスの売上増加 • 生産の安定性向上[F、Bのみ] • バリューチェーンの透明性の向上 • 製品使用による水資源への影響の低減[Wのみ] • 消費者の嗜好の変化

<ul style="list-style-type: none"> • その他のキャッシュフローと資金調達に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください <p>エネルギー源[CCのみ]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 炭素市場への参加[CCのみ] • 分散型エネルギー発電へのシフト[CCのみ] • 炭素回収・貯留の利用[CCのみ] • 低炭素エネルギー源の利用[CCのみ] • 再生可能エネルギーの利用[CCのみ] • その他のエネルギー源に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください[CCのみ] <p>市場</p> <ul style="list-style-type: none"> • より安価で、より利用しやすいクレジットへの容易なアクセス • 新規市場への進出 • ブランド価値の向上 • サプライチェーン・エンゲージメントの向上 • 環境負荷を低減した製品(認証製品以外)の入手可能性の増加 • 認証された持続可能な原材料への需要の高まり • 代替タンパク質市場の成長拡大[F、畜牛品と大豆のみ] • より強い競争優位性 • 公的機関からのインセンティブ利用 • その他の市場に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください。 	<ul style="list-style-type: none"> • その他の製品とサービスに関連する機会がある場合は、具体的にお答えください <p>評判資本</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域社会との関係改善 • 持続可能性/ESG指標による評価の向上 • 製品/サービスに対する需要増加をもたらす評判上の利益 • 社会的営業許可の強化 • その他の評判資本に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください <p>レジリエンス</p> <ul style="list-style-type: none"> • 将来の規制の変化に対するレジリエンスの向上 • 従業員の定着率の向上 • 気候変動の影響に対するレジリエンスの向上 • バリューチェーン上流のレジリエンスの向上 • 業界における環境関連の協働枠組み、イニシアチブ、コミットメントへの参加 • ビジネスモデルの転換 • その他のレジリエンスに関連する機会がある場合は、具体的にお答えください <p>資源効率</p> <ul style="list-style-type: none"> • 荒廃地での農業拡大[Fのみ] • コスト削減 • 生産・流通プロセスの効率化 • よりエネルギー/資源効率の高い建物への移転[CCのみ] • 水の使用量と消費量の削減[CC、Wのみ] • 再生産[F、W、B] • より効率的な交通手段の利用[CCのみ] • リサイクルの利用 • 下水処理からの水回収[Wのみ] • 新技術の利用 • その他の資源効率に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください
---	---

機会の主な財務的影響(9列目)

- 直接費の減少
- 間接費(運営費)の減少
- 製品およびサービスに対する需要増加による売上増加
- 新市場と新興市場への参入を通じた売上増加
- 生産能力増強に起因する売上増加
- 価格プレミアムによる増収
- バリューチェーン下流企業からの直接支払いによる増収
- 資本へのアクセス向上
- より低い／有利な金利での資本アクセスの増加
- 固定資産の価値上昇
- 金融資産の多様化
- 低排出技術への投資収益率の向上
- その他、具体的にお答えください

モジュール 17: 中小企業ガバナンス

環境への責任

(17.1) 貴組織では、環境課題に対する責任を負っていますか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(4.3)
説明	この設問は、組織における環境課題の重要性を強調することへのコミットメントのレベルを示すものです。役員または管理職レベルに責任を課すということは、その組織が環境方針の実施に取り組んでいることを示します。
回答方法	以下の表に記入してください。フォレストとウォーターの行は、これらのテーマを回答している組織のみに表示されます。

0	1
環境問題	この環境課題に対する責任
気候変動	選択肢: <ul style="list-style-type: none">• はい• いいえ、しかし今後 2 年以内にそうする予定です• いいえ、また今後 2 年以内にそうする予定もありません
フォレスト	
ウォーター	

[固定列]

(17.1.1) 環境課題への責任を負う最高レベルの職位または委員会を記載してください。(個人名は含めないでください)

質問内容

他の質問との関連性	この質問は、質問17.1の1列目[この環境課題に対する責任]で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(4.3.1)
説明	この設問は、組織における環境課題の重要性を強調することへのコミットメントのレベルを示すものです。役員または管理職レベルに責任を課すということは、その組織が環境方針の実施に取り組んでいることを示します。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6
環境課題	責任を負う個人の職位または委員会	この職位の環境関連の責任	報告系統	環境課題に関する取締役会への報告頻度	説明してください
気候変動	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	以下のドロップダウンメニューから該当するものをすべて選択してください。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 取締役会に直接報告 エグゼクティブリーダーシップ (CEO、CRO、CFO、COO、CSO、またはそれに相当する役職)への報告 その他、具体的に 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 四半期に1回以上の頻度で 四半期に1回 半年に1回 年1回 年1回より少ない頻度で 重要な事案が生じたとき 	文章記入欄[最大2,000文字]
フォレスト					
ウォーター					
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト ウォーター 					

[行固定、行追加]

責任を負う個人の職位または委員会(1列目)

役員レベル <ul style="list-style-type: none"> ● 最高経営責任者(CEO) ● 最高財務責任者(CFO) ● 最高執行責任者(COO) ● 最高調達責任者(CPO) ● 最高リスク管理責任者(CRO) ● 最高サステナビリティ責任者(CSO) ● ガバナンス関係最高責任者(CGRO) ● 最高技術責任者(CTO) ● 最高コンプライアンス責任者(CCO) ● その他の最高経営層 ● 社長 ● 最高法務責任者 	委員会 <ul style="list-style-type: none"> ● リスク委員会 ● 持続可能性委員会 ● 環境・社会・ガバナンス委員会 ● 安全・健康・環境・品質委員会 ● 企業責任委員会 ● その他の委員会、具体的にお答えください 管理職レベル <ul style="list-style-type: none"> ● 事業部長 ● エネルギー部長 ● 環境・衛生・安全部長 ● 環境／サステナビリティ部長 ● 施設管理者 ● プロセス・オペレーション・マネージャー ● 調達部長 ● 広報部長 ● リスク管理部長 その他 <ul style="list-style-type: none"> ● その他、具体的にお答えください
--	--

この職位の環境関連の責任(2列目)	
リスク、機会 <ul style="list-style-type: none"> ● リスク、機会に関する将来動向の評価 ● リスク、機会の評価 ● リスク、機会の管理 方針、コミットメント、目標 <ul style="list-style-type: none"> ● 企業の環境方針および/またはコミットメントの設定 ● 企業の環境方針および/またはコミットメントの遵守のモニタリング ● 企業の環境目標の設定 ● 企業の環境目標の進捗状況の測定 ● 環境科学に基づく目標達成に向けた進捗状況の測定 エンゲージメント <ul style="list-style-type: none"> ● 環境課題に関する政策エンゲージメントの管理 ● 環境課題に関するバリューチェーン・エンゲージメントの管理 	戦略と財務計画 <ul style="list-style-type: none"> ● 環境シナリオ分析の実施 ● 気候移行計画の策定[CCのみ] ● 気候移行計画の実行[CCのみ] ● 環境課題を考慮した事業戦略の策定 ● 環境課題に関する事業戦略の実行 ● 環境課題に関する買収、合併、売却の管理 ● 環境課題に関する大規模な資本支出および/または事業支出の管理 ● 環境課題に関する年間予算の管理 ● 技術革新／低環境負荷製品・サービス(研究開発を含む)に関する優先事項の管理 ● 環境報告、監査、検証プロセスの管理 その他 <ul style="list-style-type: none"> ● 環境パフォーマンスに関連した従業員インセンティブの提供 ● その他、具体的にお答えください

<ul style="list-style-type: none"> 管轄区域におけるエンゲージメントの管理 サプライヤーの環境要件遵守の管理 	
---	--

環境方針

(17.2) 貴組織は、環境課題に取り組む環境方針を定めていますか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(4.6)
説明	環境方針は、説明責任を果たしながら行動を推進するための基盤となる重要なガバナンス・ツールです。環境課題に対する企業環境方針を定めることは、組織が環境課題の重要性を理解し、環境アクションを起こす責任を認識していることを示します。したがって、データ利用者は、組織が環境課題に関連する組織の依存、影響、リスク、機会を認識し、明確な意図と行動の方向性を持つ方針を明確にし、文書化していることを知りたいと考えています。組織のステークホルダーに対する説明責任を果たすため、方針は公開されるべきです。
回答方法	以下の表に記入してください:

	1列目で「いいえ...」が選択されている場合に表示
1	2
貴組織には環境方針がありますか	環境方針を定めていない主な理由
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 内部リソース、能力、または専門知識の欠如 (例: 組織の規模が原因) 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でない、関係ないと判断された その他、具体的にお答えください

[固定列]

(17.2.1) 環境方針の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問17.2の1列目[貴組織には環境方針がありますか]で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(4.6.1)
説明	環境方針は、説明責任を果たしながら行動を推進するための基盤となる重要なガバナンス・ツールです。この質問では、環境課題に対する組織の意識レベルを把握し、方針で示された行動の確実性を示すことで、環境課題に関する組織のコミットメントをデータ利用者に示すことができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5
環境課題	方針の適用範囲	バリューチェーンの段階の適用範囲	適用範囲について説明してください	環境方針の内容
該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト ウォーター 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 組織全体 特定の施設、事業、地域のみ 一部の製品のみ 選択されたコモディティのみ 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 直接操業 バリューチェーン上流 バリューチェーン下流 	文章記入欄[最大 1,500 字]	以下のドロップダウンメニューから該当するものをすべて選択してください。

[行を追加]

環境方針の内容(5列目)

<p>環境に関するコミットメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 規制および必須基準の遵守へのコミットメント ● 規制遵守にとどまらない環境行動へのコミットメント ● 共有の持続可能性目標を推進するために、統合されたマルチステークホルダーのランドスケープ(河川流域を含む)イニシアティブに関与することへのコミットメント[F, W のみ] ● 環境課題に関するステークホルダーエンゲージメントとキャパシティビルディングへのコミットメント ● その他の環境に関するコミットメントを具体的にご記入ください <p>気候関連のコミットメント [1 列目で「気候変動」を選択した場合に表示される]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギー100%へのコミットメント ● ネット・ゼロ排出へのコミットメント ● 化石燃料拡大への投資を行わないというコミットメント ● その他の気候関連のコミットメントを具体的にご記入ください <p>フォレスト関連のコミットメント [1 列目で「フォレスト」を選択した場合に表示される]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 土壌と泥炭に対する最良の管理方法に対するコミットメント ● 目標期日まで自然生態系の転換なしのコミットメント ● 目標期日まで森林減少ゼロのコミットメント ● その他のフォレスト関連のコミットメントを具体的にご記入ください 	<p>ウォーター関連のコミットメント [1 列目で「ウォーター」を選択した場合に表示される]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有害物質の削減または段階的廃止へのコミットメント ● 水質汚濁の抑制・削減・撲滅へのコミットメント ● 水使用量削減へのコミットメント ● 取水量削減へのコミットメント ● 地域コミュニティにおける安全な WASH 管理へのコミットメント ● ウォーター・スチュワードシップおよび/または共同アクションへのコミットメント ● その他の水関連のコミットメントを具体的にご記入ください <p>社会関連のコミットメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国際労働機関原則の採択 ● 男女平等と女性のエンパワメント推進へのコミットメント ● 先住民と地域コミュニティの土地、資源、領土に対する慣習上の権利を尊重し、保護することへのコミットメント ● 国際的に認められた人権を尊重することへのコミットメント ● 先住民と地域コミュニティの自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)を確保することへのコミットメント ● その他の社会関連のコミットメントを具体的にご記入ください <p>その他の言及/記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 方針の対象となるコモディティの説明 [F のみ] ● 環境方針の不遵守をモニタリングし、その他のグリーンウォッシングに関する懸念事項を提起/対処/軽減するための苦情処理/内部通報制度の説明 ● 再生可能エネルギー電力の調達慣行に関する記述[C のみ] ● 期限付きの環境マイルストーンと目標への言及 ● その他の言及/記述を具体的にご記入ください
--	---

モジュール 18: 中小企業のビジネス戦略

リスクと機会が戦略と財務計画に及ぼす影響

(18.1) 環境リスクと機会は、戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 16.1, 16.3 の 1 列目で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
完全版質問書との整合性	軽微な変更(5.3)
説明	<p>この設問では、組織が環境問題を業務レベルだけでなく、事業の戦略的レベルで検討し、対応しているかどうかを示すことができます。気候関連の意思決定やイニシアチブを全社戦略に組み込んでいる企業ほど、意味のある行動を取り、気候関連の目標を達成できる可能性が高いという強力な証拠があります。</p> <p>新たな規制や、環境要因による生産に必要な主要資源の潜在的不足といった環境リスクは、組織戦略と財務計画の双方に影響を及ぼす可能性があります。こうした課題に対処するためには、規制要件との整合やサプライヤーの多様化など、戦略的な見直しが必要となる場合があります。また、コンプライアンスのための資源配分や、新技術や代替資源への投資など、財務計画の調整も必要になる場合があります。</p> <p>一方、環境的機会は、組織戦略と財務計画の双方にプラスの影響を与える可能性があります。例えば、消費者の嗜好が環境に配慮した持続可能な製品へとシフトしていることを認識すれば、環境にやさしい製品を開発するという戦略的な決断が促されるかもしれません。さらに、環境への取り組みやブランド評価の向上は、環境・社会・ガバナンス(ESG)投資への関心の高まりと一致します。財務的な観点からは、エネルギー効率の高い技術の採用や、費用対効果の高い再生可能エネルギーへの移行といった機会を捉えることで、間接費の削減につながる可能性があります。</p>

	1 列目で「戦略および財務計画の両方」以外の選択肢を選択した場合に表示	1 列目で「戦略および財務計画の両方」以外の選択肢を選択した場合に表示	
	1	2	3
環境リスクおよび/または機会が戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか		環境リスクおよび/または機会が戦略および/または財務計画に影響を及ぼしていない主な理由	環境リスクおよび/または機会が、戦略および/または財務計画に影響を及ぼしていない理由を説明してください。

<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい、戦略のみ • はい、財務計画のみ • はい、戦略と財務計画の両方 • 環境リスクと機会が組織の戦略と財務計画に影響を与えたかどうかは評価していないが、今後 2 年以内に評価する予定である。 • 環境リスクや機会が組織の戦略や財務計画に影響を及ぼしているかどうかを評価しておらず、今後 2 年以内に評価する予定もない。 • いいえ 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如 (例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的にお答えください 	<p>文章記入欄[最大 2,500 字]</p>
--	--	--------------------------

[固定列]

(18.1.1)環境問題によって生じるリスクと機会が、戦略および/または財務計画のどの部分でどのように影響を及ぼしたのか、説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 18.1 の「環境リスクおよび/または機会が戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか」の欄で、「はい、戦略のみ」、「はい、財務計画のみ」または「はい、戦略と財務計画の両方」を選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	質問の修正(5.3.1, 5.3.2)
説明	この質問を通じて、データ利用者は、特定された環境リスクと機会が組織の戦略や財務計画にどのような影響を与えたかを理解できます。この質問に対する回答は、貴組織の将来のパフォーマンスや、貴組織の戦略や財務計画が環境リスクや機会に対してどの程度弾力性があるかについての予想に利用される可能性があります。

行は、18.1 の 1 列目の選択に基づいて表示される。	戦略」行にのみ表示される	ファイナンシャル・プランニング」の行にのみ表示される			
1	2	3	4	5	6

環境リスクや機会の影響を受ける地域	影響を受けた事業分野	影響を受けた財務計画の要素	影響の種類	どの環境課題のリスクおよび／または機会が貴社のこの領域における戦略や財務計画に影響を及ぼしましたか	環境リスクおよび／または機会が、この領域における貴社の戦略や財務計画にどのような影響を及ぼしたかを説明してください。
戦略	該当するものをすべて選んでください： <ul style="list-style-type: none"> 製品とサービス バリューチェーン上流／下流 研究開発への投資 操業 	該当なし	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> リスク 機会 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト ウォーター 	文章記入欄[最大 2,500 字]
財務計画	該当なし	該当するものをすべて選んでください： <ul style="list-style-type: none"> 売上 直接費 間接費 資本支出 資本配分 買収と売却 資本へのアクセス 資産 負債 その他、具体的に 			
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 戦略 財務計画 					

[固定行／追加行]

移行計画

(18.2) 貴組織の戦略には、気候移行計画が含まれていますか。

質問内容

完全版質問書との整合性	質問の修正(5.2)
説明	<p>気候移行計画の策定は、データ利用者に対して、組織が長期的かつグローバルな気候目標に整合しており、そのビジネスモデルがネット・ゼロ・カーボン経済においても適切であり続けるという確証を与えます。また、気候移行計画に関するフィードバックを収集することで、株主は、進捗状況を確認し、決議することができます。この質問では、組織の移行計画や関連するフィードバックの仕組みに関する透明性を提供することができます。</p> <p>投資家、顧客、従業員から、企業がどのように気候危機に取り組み、自社のビジネスモデルをネットゼロの未来に沿ったものへと移行させる計画なのか、関心が高まっています。移行とは、次の2つの主要な結果が追求される世界とビジネスモデルを一致させるための行動をとることを指します：(1)世界の平均気温が産業革命以前の水準より1.5℃上昇しないこと、(2)自然の生態系の健全性が回復すること、そして長期的に人々と地球のために機能する繁栄する経済を可能にすること。信頼できる移行計画は、組織がそのような行動をどのように達成するかを定め、組織の行動を通じて気候変動を緩和するための進捗状況について、説明責任と透明性を果たすためのメカニズムとして機能します。</p> <p>中小企業の柔軟性とイノベーション能力は、気候変動へのレジリエンスを高め、世界の気温上昇を1.5℃に抑えるための鍵となる気候ソリューションを提供する上で、非常に重要な役割を担っています。しかし、中小企業がネット・ゼロ・カーボン経済へビジネスモデルを移行するための行動をとらなければ、競争上の不利に直面し、低炭素化の機会を失うリスクがあります。</p> <p>気候移行計画を策定することで、データ利用者に対して、組織が長期的かつグローバルな気候変動目標に整合していること、そして、そのビジネスモデルが、ネット・ゼロ・カーボン経済において適切な存在であり続けることを確信させることができます。気候移行計画に関するフィードバックを収集することで、ステークホルダーは、進捗状況を確認し、解決策を提起することができます。この質問は、組織の移行計画や関連するフィードバックの仕組みに関する透明性を提供するものです。</p>

	1列目で「気候変動移行計画がある」を選択した場合に表示	1列目で「気候変動移行計画がある」を選択した場合に表示	1列目で「気候変動移行計画がある」を選択した場合に表示	4列目で「フィードバックの仕組みがある」を選択した場合に表示	1列目で「気候変動移行計画がある」を選択した場合に表示	1列目で「気候変動移行計画がある」を選択した場合に表示	7列目で「フォレスト」、「ウォーター」、「その他(具体的に)」を選択した場合に表示
1	2	3	4	5	6	7	8
移行計画	移行計画が整合している気温上昇	気候移行計画の公開	気候移行計画についてステークホルダ	フィードバック収集の頻度	気候移行計画を詳述する関連書類を添付してください(任意)	気候移行計画が考慮するその他の環境課題	気候移行計画において、その他の環境課題がどのように考慮

			ーからフィードバックを収集する仕組み				されているかを説明してください
<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい、気候移行計画があります • いいえ、しかし2年以内に気候移行計画を作成する予定です • いいえ、2年以内に気候移行計画を作成する予定はありません 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1.5℃に整合 • 2℃を十分に下回る水準に整合 • 2℃に整合 • 特定していない • その他、具体的に教えてください 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • フィードバックの仕組みを持っている • フィードバックの仕組みはないが、今後2年以内に導入する予定です • フィードバックの仕組みを導入していないし、今後2年以内に導入する予定もない 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 年1回以上の頻度 • 年1回 • 年1回未満の頻度 	[ファイル添付]	<p>該当するものをすべて選択してください:</p> <ul style="list-style-type: none"> • フォレスト • ウォーター • その他、具体的にお答えください • その他の環境課題は考慮されていない 	文章記入欄[最大2,500文字]

[固定列]

バリューチェーンエンゲージメント

(18.3) 環境問題について、サプライヤー、顧客、その他バリューチェーン内のステークホルダーと協働していますか

質問内容	
完全版質問書との整合性	質問の修正(5.11、5.11.7、5.11.9)
説明	<p>バリューチェーンのステークホルダーとのエンゲージメントは、組織が事業活動に関連する環境問題を前進させるために不可欠です。バリューチェーンとは、組織がその製品やサービスを構想から納品、消費、使用後に至るまでの過程で、使用し、依存する活動、資源、関係を含みます。関連する活動、資源、関係には、a) 人的資源など、組織自身の事業におけるもの、b) 材料やサービスの調達、製品やサービスの販売・配達など、組織の供給、マーケティング、流通チャネルに沿ったもの、c) 組織が活動する資金調達、地理的、地政学的、規制的環境などが含まれます。</p> <p>中小企業は通常、大企業に比べて経営資源が乏しいため、バリューチェーンのステークホルダーとのエンゲージメントは、学習の共有、専門知識の構築、リスク管理の強化、環境への影響に対処するための行動において特に価値があります。エンゲージメントの例としては、環境に配慮した原材料調達を確立するためにサプライヤーと協力することや、環境の持続可能性と環境に優しい慣行について顧客を教育す</p>

	ることなどが挙げられます。また、持続可能性に関する業界ネットワークに参加し、リソースを共有したり、ベストプラクティスや他の企業との協力の機会について話し合ったりすることもその一例です。環境問題に関してバリューチェーンとエンゲージメントしていない場合、CDP のデータ利用者は、なぜエンゲージメントしていないのか、また今後どのような計画を立てているのかを知りたいと考えています。
回答方法	以下の表に記入してください

		1 列目で「はい」を選択した場合に表示	1 列目で「いいえ...」のいずれかが選択されている場合に表示	1 列目で「はい」を選択した場合に表示	1 列目で「はい」を選択した場合に表示
0	1	2	3	4	5
バリューチェーンのステークホルダー	環境課題に関するこのステークホルダーとのエンゲージメント	環境課題	環境課題に関してこのステークホルダーとエンゲージメントしない主な理由	エンゲージメントの種類	エンゲージメントの詳細
サプライヤー	選択肢：： <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ、しかし今後 2 年以内にそうする予定です いいえ、また今後 2 年以内にそうする予定もありません 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト 水 プラスチック [サプライヤー列のみ表示] 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 私たちは生産者であり、サプライヤーがない 内部リソース、能力、または専門知識の欠如（例：組織の規模が原因） 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した その他、具体的にお答えください 	該当するものをすべて選んでください： <ul style="list-style-type: none"> キャパシティビルディング（「顧客」または「投資家および株主」の行には表示されていない） 財務的インセンティブ [顧客および投資家・株主の行には表示されていない] 情報収集 [顧客および投資家・株主の行には表示されていない] イノベーションとコラボレーション 教育 情報共有 [サプライヤーの行には表示されていない] その他 	文章記入欄 [最大 2,500 文字]
顧客					
投資家および株主					
その他のバリューチェーン関係者（具体的に					

[固定列]

協働の機会 [SCのみ]

(18.4) 特定の CDP サプライチェーンメンバーと協働できる、お互いに有益な環境関連のイニシアチブを回答してください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	変更なし(5.12)
説明	環境課題に効果的に対処するには、往々にして協働の取り組みが必要です。この質問を通じて、貴組織は、環境リスクを低減し、かつ／又は貴組織と顧客の双方に利益をもたらす機会を実現するために、回答を要請しているサプライチェーンメンバーと協力できる方法を提案することができます。また、貴社と顧客とのコミュニケーションを強化し、革新的な新たなパートナーシップを推進するためにも活用できます。
回答方法	この表は、1列目の「回答要請メンバー」で選択した顧客企業のみが、該当するデータを閲覧できるようになっています。回答要請メンバーを選択せずに回答を入力した場合、回答は誰にも閲覧できません。以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	2列目で「フォレスト」を選択すると表示される	4a	ドロップダウンのオプションは、2列目と4a列目の選択に依存して表示	4b	5	ドロップダウンのオプションは、2列目で選択された環境課題に依存して表示	6
回答要請メンバー	イニシアティブが関連する環境課題	イニシアチブの対象コモディティ [Fのみ]	イニシアチブのカテゴリ	イニシアチブの種類	イニシアチブの詳細	期待される効果		
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> メンバーのドロップダウンリスト 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト ウォーター 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> コモディティのドロップダウンメニューが表示 該当なし 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 認証 製品・サービス提供の変更 サプライヤー業務の変更 コミュニケーション イノベーション 	下のドロップダウンリストより選択	文章記入欄[最大2,500字]	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 生産性の向上による売上の増加 資源の利用と効率の改善 水質改善[Wのみ] ウォーター・スチュワードシップの向上【Wのみ】 認証材使用の増加[Fのみ] バリューチェーン上流/下流の透明性の向上 単価の低下 		

			<ul style="list-style-type: none"> • 物流の変化 • 共同アクションの促進 • 持続可能性評価との連携 • トレーサビリティと透明性 • その他、具体的にお答えください 			<ul style="list-style-type: none"> • 森林減少および転換なしの素材に対する価格プレミアム [Fのみ] • 顧客の排出量の削減(顧客のスコープ1および2) • 事業活動の排出量(スコープ1と2)の削減 • バリューチェーン下流排出量の削減(自社スコープ3) • 顧客の業務上の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] • 事業活動に伴う水の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] • バリューチェーン下流の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] • その他、具体的にお答えください
--	--	--	---	--	--	--

		8列目で「はい、ライフタイムCO ₂ 排出量と節水量の両方」または「ライフタイムCO ₂ e削減のみ」を選択した場合に表示される。	8列目で「ライフタイムCO ₂ 排出量と節水量の両方」または「ライフタイム節水量のみ」を選択した場合に表示される。	
7	8	9	10	11
利益実現までの推定期間	このイニシアチブのライフタイムCO ₂ 換算および/または節水量を見積もることができますか？	推定ライフタイムCO ₂ e削減量	推定ライフタイム節水量(メガリットル)	説明してください
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • 0~1年 • 1~3年 • 3~5年 • 5年以上 • その他、具体的にお答えください 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • はい、ライフタイムCO₂排出量と節水量の両方 • はい、ライフタイムCO₂e削減のみ • はい、ライフタイム節水量のみ • いいえ 	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~999,999,999の範囲を入力]。	文章記入欄[最大1,000字]

[行を追加]

イニシアチブの種類(4b 列目)

認証

- コモディティ認証のカバー率を高める【Fのみ】
- その他の認証、具体的に

製品・サービス提供の変更

- より多くのオンライン／バーチャルなサービス提供【CCのみ】
- 梱包の軽量化
- 水関連の影響を削減する【Wのみ】
- その他の商品・サービス提供の変更(具体的に記入ください)

サプライヤー業務の変更

- 製品やサービスのライフサイクルに与える影響を評価し、効率性を特定する
- エネルギー削減プロジェクトの実施【CCのみ】
- 再生可能エネルギーの購入比率を高める【CCのみ】
- 事業における水効率を高める【Wのみ】
- その他のサプライヤー業務の変更(具体的に記入ください)

コミュニケーション

- 表彰 - 外部表彰と一緒に応募する
- 共同事例研究またはマーケティング・キャンペーン
- その他のコミュニケーション(具体的に)

イノベーション

- 持続可能な生産を確保するための新しい技術を導入する【Fのみ】
- 上流の排出フットプリントが低い新製品またはサービス【CCのみ】
- 森林へのバリューチェーン上流からの影響がより少ない新しい製品またはサービス【Fのみ】
- バリューチェーン上流での水への影響がより少ない新製品または新サービス【Wのみ】
- 顧客の事業活動の排出量を削減する新しい製品またはサービス【CCのみ】
- 顧客の業務上の水消費量を削減する新しい製品またはサービス【Wのみ】
- 顧客の製品・サービスのコモディティ消費量を削減する新しい製品・サービス【Fのみ】
- 顧客の製品/サービスの運用時の排出量を削減する新しい製品またはサービス【CCのみ】
- 包装の削減
- その他のイノベーション、具体的に

物流の変化

- 物流のタイミングを変更する【CCのみ】
- 輸送モードの変更(例: 航空から鉄道への切り替え)【CCのみ】
- ロジスティクスの統合【CCのみ】
- ルート最適化【CCのみ】
- その他のロジスティクスの変更、具体的に

集団行動の促進

- 影響削減のため、流域の他の利用者と協力するよう顧客に呼びかける【Wのみ】。
- 景観または管轄区域のイニシアチブに協力するよう顧客を招待する【Fのみ】。
- その他の団体行動(具体的に)

持続可能性評価との連携

- 顧客の目標や野心につながるよう目標を調整する
- 既存の持続可能性評価との連携
- その他、具体的に

トレーサビリティと透明性

- 既存のトレーサビリティ・システムを改善する【Fのみ】
- 新しいトレーサビリティ・システム【Fのみ】
- その他のトレーサビリティ・システム(具体的に)

その他

- その他のイニシアチブの種類(具体的に)

(18.5) 貴組織は、CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより、相互に有益な環境イニシアチブを既に実施しましたか。

質問内容	
完全版質問書との整合性	変更なし(5.13)
説明	環境課題に効果的に取り組むには、往々にして協働アクションが必要です。この質問では、組織がイニシアチブの実施を通じて共同で環境アクションに取り組む姿勢を示すことができます。
回答方法	以下の表に記入してください：

1 列目で「いいえ」を選択した場合に表示される。		
1	2	3
CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより実施された環境イニシアチブ	環境イニシアチブを実施しない主な理由	貴組織が環境イニシアチブを実施していない理由を説明してください。
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、しかし今後2年以内に計画しています • 今後2年間は予定していない 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如（例：組織の規模が原因） • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でないか、関連性がないと判断した • その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 2,500 字]

[固定列]

(18.5.1) 相互に有益な環境イニシアチブの実施を促した CDP サプライチェーンメンバーを明記し、イニシアチブの情報を提供してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、18.5 の「CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより実施された環境イニシアチブ」の欄で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
完全版質問書との整合性	変更なし(5.13.1)

説明	環境課題に効果的に取り組むには、しばしば協働アクションが必要です。この質問は、CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントによって実施されたイニシアチブの種類を示し、それらがどのように進展したか、またこれまでに見られた相互の利益について詳しく説明する機会を提供します。
回答方法	この表は、1 列目の「回答要請メンバー」で選択した顧客企業のみ、該当するデータを閲覧できるようになっています。回答要請メンバーを選択せずに回答を入力した場合、回答はどなたにも表示されません。以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	2 列目で「フォレスト」を選択すると表示	4	5a	ドロップダウンのオプションは、2 列目と 5a 列目の選択に依存して表示	6	ドロップダウンのオプションは、2 列目で選択された環境課題に依存して表示
回答要請メンバー	イニシアチブが関連する環境課題	イニシアチブの対象コモディティ [Fのみ]	イニシアチブ ID	イニシアチブのカテゴリ	イニシアチブの種類	イニシアチブの詳細	達成された利益
選択肢: メンバーのドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト ウォーター 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> コモディティタグによってドロップダウンメニューが表示 該当なし 	選択肢: [IDのドロップダウンメニュー]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 認証 製品・サービス提供の変更 サプライヤー業務の変更 コミュニケーション イノベーション 物流の変化 共同アクションの促進 持続可能性評価との連携 トレーサビリティと透明性 その他、具体的にお答えください 	下のドロップダウンリストより選択	文章記入欄 [最大 2,500 字]	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 生産性の向上による売上の増加 資源の利用と効率の改善 水質改善[Wのみ] ウォーター・スチュワードシップの向上 [Wのみ] 認証材使用の増加[Fのみ] バリューチェーン上流/下流の透明性の向上 単価の低下 森林減少および転換なしの素材に対する価格プレミアム [Fのみ] 顧客の排出量の削減(顧客のスコープ 1および2) 事業活動の排出量(スコープ1と2)の削減

							<ul style="list-style-type: none"> バリューチェーン下流排出量の削減（自社スコープ3） 顧客の業務上の取水量および／または消費量の削減[Wのみ] 事業活動に伴う水の取水量および／または消費量の削減[Wのみ] バリューチェーン下流の取水量および／または消費量の削減[Wのみ] その他、具体的にお答えください
--	--	--	--	--	--	--	--

	8列目で「はい、排出削減と節水」または「はい、排出削減のみ」を選択した場合に表示される。	8列目で「はい、排出削減と節水」または「はい、節水のみ」を選択した場合に表示される。		
8	9	10	11	12
報告年における排出削減量または節水量の数値を提示できますか	報告年における推定排出削減量(トンCO2e)	報告年の推定節水量(単位:メガリットル)	このイニシアチブの成功はどのように測定されるのか説明してください。	CDP サプライチェーンメンバーが、社外とのコミュニケーションでこの活動を取り上げても構いませんか
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 排出削減と節水 排出削減のみ 節水のみ いいえ 	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	文章記入欄[最大 1,500 字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ

[行を追加]

イニシアチブの種類(5b 列目)	
認証 <ul style="list-style-type: none"> コモディティ認証のカバー率を高める【Fのみ その他の認証、具体的に 	物流の変化 <ul style="list-style-type: none"> 物流のタイミングを変更する【CCのみ 輸送モードの変更(例:航空から鉄道への切り替え)【CCのみ ロジスティクスの統合【CCのみ

製品・サービス提供の変更

- より多くのオンライン／バーチャルなサービス提供 [CCのみ]
- 梱包の軽量化
- 水関連の影響を削減する[Wのみ]
- その他の商品・サービス提供の変更(具体的にご記入ください)

サプライヤー業務の変更

- 製品やサービスのライフサイクルに与える影響を評価し、効率性を特定する
- エネルギー削減プロジェクトの実施[CCのみ]
- 再生可能エネルギーの購入比率を高める【CCのみ
- 事業における水効率を高める[Wのみ]
- その他のサプライヤー業務の変更(具体的にご記入ください)

コミュニケーション

- 表彰 - 外部表彰と一緒に応募する
- 共同事例研究またはマーケティング・キャンペーン
- その他のコミュニケーション(具体的に)

イノベーション

- 持続可能な生産を確保するための新しい技術を導入する[Fのみ]
- 上流の排出フットプリントが低い新製品またはサービス[CCのみ]
- 森林へのバリューチェーン上流からの影響がより少ない新しい製品またはサービス【Fのみ
- バリューチェーン上流での水への影響がより少ない新製品または新サービス[Wのみ]
- 顧客の事業活動の排出量を削減する新しい製品またはサービス[CCのみ]
- 顧客の業務上の水消費量を削減する新しい製品またはサービス[Wのみ]
- 顧客の製品・サービスのコモディティ消費量を削減する新しい製品・サービス[Fのみ]
- 顧客の製品/サービスの運用時の排出量を削減する新しい製品またはサービス[CCのみ]
- 包装の削減
- その他のイノベーション、具体的に

- ルート最適化[CCのみ]
- その他のロジスティクスの変更、具体的に

集団行動の促進

- 影響削減のため、流域の他の利用者と協力するよう顧客に呼びかける [Wのみ]。
- 景観または管轄区域のイニシアティブに協力するよう顧客を招待する [Fのみ]。
- その他の団体行動(具体的に)

持続可能性評価との連携

- 顧客の目標や野心につながるよう目標を調整する
- 既存の持続可能性評価との連携
- その他、具体的に

トレーサビリティと透明性

- 既存のトレーサビリティ・システムを改善する[Fのみ]
- 新しいトレーサビリティ・システム[Fのみ]
- その他のトレーサビリティ・システム(具体的に)

その他

- その他のイニシアチブの種類(具体的に)

モジュール 19: 中小企業の環境パフォーマンス - 連結アプローチ

連結アプローチ

(19.1) 回答を通じて報告される気候関連の影響を判断するために貴組織が使用する連結アプローチを選択してください。この選択肢は、貴組織の GHG インベントリを統合するために選択したアプローチと一致する必要があることにご注意ください。

質問内容	
完全版質問書との整合性	変更なし(6.1)
説明	連結アプローチとは、環境影響(温室効果ガス排出量など)を組織に関連付ける方法です。データ利用者が環境影響と貴組織の事業活動との関係を解釈するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
使用した連結アプローチ	連結アプローチを選択した根拠を示す。
選択肢: • 財務管理 • 業務管理 • 株式所有 • アプローチは不明 • その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大 2,500 文字]

[固定列]